



▶千葉県南房総市

全国の食卓へ自慢の あわびとさざえをお届け

千葉県千倉地域のアワビの漁獲高は、最盛期の昭和42年から現在まで減少の一途をたどっています。これに対し南房総市は、「つくり育てる漁業」を推進するため、漁業協同組合に補助し、あわびの稚貝放流事業、さざえの放流事業を行っています。

これらの放流事業を充実させ、全国の食卓に南房総の豊かな海でとれるあわび、さざえを提供できるよう、事業の財源をクラウドファンディング型のふるさと納税で募りました。募集にあたっては、漁

業を取り巻く状況、後継者問題を分かりやすく示すとともに、「水産資源、産業を未来に繋げる」をテーマに寄附者の共感を集めました。

また、寄附者を稚貝育成施設の見学に招待するなど、寄附者とのつながりを大切にしています。



稚貝放流の様子



アワビの稚貝

注力した点や工夫した点

事業実施団体である漁協に現状の聞き取り調査を行うことで、地域が抱える課題を細部まで掘り起こすことができました。

Check

取組の効果

東安房漁業協同組合が、長年の試行錯誤の末確立した独自のアワビの稚貝の育成法「3年輪採方式」*が内閣総理大臣賞を受賞するなど、取組がメディア等に取り上げられたことにより、漁業従事者や、水産加工販売事業者にとっても、さらなる産業振興への機運向上に繋がりました。

また、寄附者に稚貝育成施設を見学していただくことで、「つくり育てる漁業」についての理解が広がり、継続的な支援にも

つながっています。

*3カ所に漁場を分け、1年に1カ所ずつアワビの稚貝を放流し、3年間の育成期間を経て収穫・放流を繰り返す育成法



コンクリートの板で造成した漁礁に張り付くアワビ



稚貝育成施設見学

寄附者の声



・南房総の豊かな海を守り育てて、次の世代にも受け継いでいけるよう頑張ってください。

住民の声



・南房総で育っている子どもたちに以前のような活気ある漁師町の姿を見せたいです。